No. 3

経営とSDGs（エス・ディー・ジーズ）
～取組は身近なことから～

SDGs 17のゴール

業種別でみる具体的な取組内容　製造業②

前回の４月号から、ステップ１の「SDGsを理解する」に重点を置き、業種別の具体的な取組内容をシリーズで紹介しています。今回は前回に引き続き、製造業についてです。　※以下で紹介する取組はあくまで一例です。

廃材や不用品をアップサイクル

アップサイクルとは、製造過程で排出される繊維くずや端切れ、木材や廃棄タイヤのチューブなど、本来なら廃棄される製品の一部を再利用し、新たな価値のある製品に生まれ変わらせることです。近年は、アップサイクル素材を採用した商品が積極的に販売されており、さまざまな廃材がバッグや靴などのファッションアイテムに生まれ変わっています。そうして生まれたアップサイクルグッズは単なるリサイクル製品ではなく、高い品質と希少性から、プレミアグッズとしての価値が付いているものも多いようです。

また、アップサイクルには「製品そのものを生かす」という特徴があります。リサイクルと違い、製品を分解し原料の状態に戻すことをしない分、再生時にエネルギーの消費やコストを抑えることができます。

関連するゴール

過剰な品質管理の廃止

顧客が想定する範囲以上の品質管理をやめ、品質と効率のバランスを意識し、顧客が本当に求めている製品を提供することで、検査労力の軽減、低コスト化を図ることができます。

関連するゴール

個人で取り組めるSDGs

マイバッグやマイボトルを活用

マイバッグやマイボトルの持参は、すでに日々の生活で実践している人も多いのではないでしょうか。プラスチックごみを減らすことは、海洋汚染を防ぐだけでなく地球温暖化や生態系破壊などの問題に対する取組でもあります。

関連するゴール

2ドア軽自動車地域最安値
24時間 2,200円～
1週間 8,580円～　1ヶ月 27,280円～
メンテナンス不要・保険付き・税込
買うより借りるガッツでしょ！
ガッツレンタカー新潟駅前店
TEL:025-256-8520　FAX:025-256-8325
新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F
https://guts-rentacar.com/

『認定支援機関』として新潟の企業を応援します！
詳しくはこちらへ→https://www.ogawakaikei.co.jp/
（本店）新潟市東区豊2-6-52　TEL 025－271－2212
税理士法人 小川会計
株式会社 小川会計コンサルティング
社会保険労務士法人 KBS
●法人税務～相続まで総合支援
●事業承継とコロナ対策支援
●経営計画策定・モニタリング支援
●認定支援機関補助金申請
●人事・労務相談
●就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します
新潟市が出資している法人です。
従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現！
会員募集中！
主な事業：慶弔給付、健康維持増進、自己啓発援助、余暇活動援助ほか
詳しいサービス内容はインターネットで
ニピイ　検索
愛称 ニピイ
公益財団法人
新潟市勤労者福祉サービスセンター
新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F
電話（025）201-6113　http://www.nipy.jp/

IT 経営マガジン「COMPASS」に掲載された全国の IT 活用事例をもとに、
中小企業の経営において、IT がどのように役立つかを、解説していきます。

ITを事例からひも解く

「法令遵守の勤務体制で、若手の採用を増やす」

「厳しい現場」といわれがちな運送業、東京都江戸川区・彦新では、若い人が入社してくれる会社を目指し改革に取り組みました。

設立70年を迎える彦新は、「100年企業を目指し会社を長く継続できる経営」をポリシーとし、鉄製品や食品の運送を手掛ける。三代目・彦田敬輔社長は、代替わり後、若手が「入社したい」と思える会社づくりを進めてきた。

課題となっていたのがドライバーの勤怠管理である。

同社は関東、中部エリアを中心に荷主の依頼に対応。営業所2カ所に計37台あるトラックはフル稼働している。

大型免許のドライバーは、最大勤務時間が1日16時間まで、その回数やインターバル時間も細かく決められている。二つの営業所から日報が集まり、集計した後に時間オーバーに気づくのでは遅く、事務効率も悪いため、システム化が必要だったのだ。

そこで、ITツールを探し、2018年にIT導入補助金が使える運送業向けのサービスからロジ勤怠システム社の「勤怠ドライバー」を選んだ。

同システムでは、タブレット等による打刻入力に対応し、勤務実績が自動計算される。勤務時間が法令で定められた上限に近づくとアラートが出るので、早めにシフトを調整することができる。

また、同サービスは、インターネットを経由して利用するクラウド型。各営業所の状況を本社からリアルタイムで確認可能となり、事務作業の効率化が図れた。

働き方改革関連法に対応し、人材採用時に休暇や残業について質問された場合は自信を持って回答できるようになった。若手人材の採用につながっている。

一定の成果を得た2021年には、ドライバーが出発前に行う点呼とアルコールチェックを遠隔からも実施できるテレニシ社の「IT点呼キーパー」を導入し、2拠点の点呼を管理者1人で行えるよう効率化した。

「ドライバーが高齢化するなか、当社はシステムを整え、福利厚生や社員を大事にする経営で若返りました。これから、社員一人ひとりが目標を立て前向きに能力を磨いていけるよう、教育に力を入れていきます」と彦田社長は意気込みを語った。

事例からヨミトル

- 勤怠管理のように時間を計算したり、法令に沿ってアラートを発したりするのはコンピューターが得意とする業務です。勤怠管理を「出勤簿への押印」や「紙に打刻するタイムカード」で行っている会社は、ITツールを利用した管理に切り替えましょう。
- IT活用は導入がスタートです。使いこなしながらより良いものがあれば変更したり、関連するシステムを加えたり、PDCAを回していきます。

会社紹介

社　名	株式会社彦新
住　所	東京都江戸川区一之江8-19-6 彦新ビル2F
従業員数	41人

IT経営マガジン「COMPASS」編集長
石原　由美子